

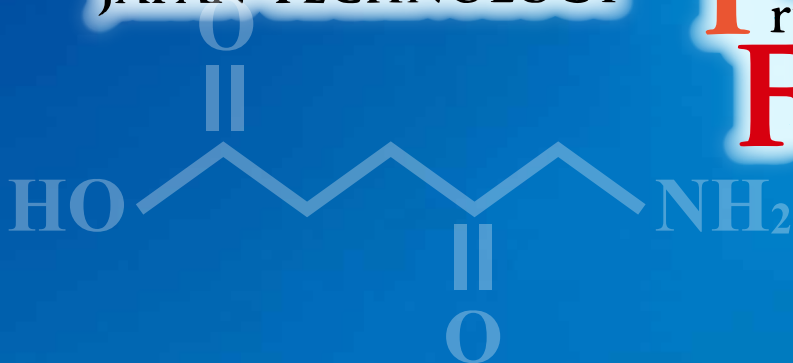
# ALA GARDEN V

JAPAN TECHNOLOGY

Vegetables【野菜】

Fruits【果物】

Flowers【花木】



## アラガーデンVFF

5-アミノレブリン酸 (ALA) 配合液肥



気孔を開く・光合成促進・窒素代謝促進

顕著な生育促進と増収

低温・寡照・塩害などのストレス軽減

樹勢回復、水稻・小麦の登熟歩合向上



1リットル  
80ミリリットル



# 野菜・果樹・花き・穀類など、作物を選びません …環境ストレスからくる生育不良の改善に

## ALA は、植物本来のチカラをアシスト

ALA (5-アミノレブリン酸) はすべての生物細胞に普遍的に存在するアミノ酸の一種です。蛋白質を構成するアミノ酸ではなく、細胞内に存在する遊離アミノ酸と呼ばれる成分の一つです。

ALA は植物自身も合成しており、葉緑素や肥料を取り込む酵素を補う成分となります。様々な生理作用に関与していることが知られる重要な物質であり、葉の気孔を開き、養水分の吸収促進や光合成のための二酸化炭素の供給を円滑にすること、窒素の吸収と代謝を促進することなどが報告されています。微量の ALA を植物に与えると、根量の増加、生育の促進、更に低温・寡照・塩害等の環境ストレスを軽減することが期待されます。

## 茎葉散布、株元への施用、土壌灌注など効かせたい時に・・・

アラガーデン VFF は、注目の ALA を配合した機能性液体肥料です。窒素 8%－りん酸 5%－加里 3%に苦土と各種微量要素を加えています。ALA とこれらの成分が協力して作物を元気にします。

茎葉散布、土壌灌注どちらでもお使いいただけます。

### 使用方法

- **茎葉散布** 水で 2000 ～ 4000 倍に希釈して、葉の表裏に均一に散布する。日中および高温時の散布を避ける。早朝散布が望ましい。  
推奨散布液量：10a 当たり原液 50 ～ 100mL 以上。
- **土壌施用** 10a 当たり原液 80 ～ 120mL を目安に、適量の水に希釈（500 倍以上）し、株元を中心に施用する。
- **施用間隔** 1 ～ 2 週間間隔。
- **浸種処理** 最初の 3 ～ 5 日間、1000 ～ 5000 倍希釈液に浸種する。以後は水に変えて慣行通り、浸種、播種する。

保証成分 (%)						
窒素全量	内硝酸性窒素	水溶性りん酸	水溶性加里	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素
8.0	2.4	5.0	3.0	3.0	0.15	0.22
含有成分 (効果発現促進材) (%)					包装容量	農水省登録
鉄 (DTPA-鉄)	亜鉛 (硫酸亜鉛)	銅 (硫酸銅)	モリブデン (モリブデン酸ナトリウム)			
0.29	0.07	0.012	0.015		1 リットル 80 ミリリットル	生第106168号

### 【使用上の注意】

- アルカリ性肥料やカルシウム剤、無機銅剤 (水酸化第二銅剤、塩基性塩化銅剤、塩基性硫酸銅剤等)、石灰硫黄合剤、その他のアルカリ性農薬との混用厳禁。
- 水道水による希釈は避け、水道水を使用した場合は希釈後直ちに散布すること。希釈用水の pH が高い場合は、予めクエン酸 (10 ～ 30 g / 100 L 目安) を添加し、酸性とすること。
- 希釈した液は当日中に使い切ること。作り置きしないこと。
- 肥料や農薬の濃厚液に本液を加えないこと。他の肥料または農薬を使用倍率に希釈してから本液を添加する。
- 本液は強い酸性ですので、金属等を腐食させるおそれがあります。使用後は手洗い、用具の洗浄等を念に行うこと。
- キャップを締めボトルを立てて、冷暗所で子供や動物が触れない場所で保管すること。